

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		020211 「未来(あす)を見つめ、今を動く」政策形成事業		担当部課	部課コード	020200	2998-9027	
事業コード		020211		経営企画課				
開始年度		25 年度		終了年度		年度		
		25				グループ		
		25				政策推進グループ		
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	根拠法令						
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	章	行財政運営	節	行政経営	基本方針	行政経営の考え方に立った改革の継続	
事業開始の背景	行政課題は、一層複雑化・高度化しており、これに対応するために、行政としても知識や能力を高めていくことが求められている。これまで、各種審議会の開催や職員研修の実施などにより対応してきたところであるが、さらに将来を見越した適切な対応をしていくことを目指し、本事業を開始したものである。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)	有識者や専門家からアドバイスをいただくとともに、先進都市視察や研修会等への派遣を通して、市職員の能力や意欲を高め、課題への対応力を磨くことを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	2,194 人			
	市職員			平成 27 年度	2,186 人			
	事業の具体的な内容及び実施方法	以下の流れにより事業を実施 事務局より、各所管課に対して、先進地視察や研修会の実施希望を確認。 所管課からの提案内容を審査し、実施の有無を決定。 各所管課において事業を実施し、報告を事務局に提出。						
想定される事業の内容	・当市と共通する課題を有する自治体や優れた取組を行っている自治体への視察 ・有識者や専門家からの助言や政策形成への支援							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			2,000	2,100	2,100		
	決算 (見込み含む)			1,342	1,763			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 人)	( 人)	( 人)	( 人)			
	正規職員人件費	0.19 人		1,657	人	0		
	事業費合計			2,999	1,763			
	財源内訳	一般財源	2,999		1,763	2,100		
	国・県支出金							
	その他( )							
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	講師等依頼件数	有識者や専門家からのアドバイザーとしての助言や支援	件	4	1	2	3
		先進地視察件数	共通する課題を有する自治体や先進自治体への視察	件	19	10	10	12
		講演会・研修会参加件数	職員の能力向上につながる会議、講演会、研修会等への出席	件	0	12	15	17
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	事業等実現件数	事業の目的が実現された件数(計画の策定につながった等)	目標値	8	8	10	10
				実績	8	8	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	事業が周知されその効果が上がってくる一方、申請件数も増大している。対象事業を決定するにあたって、より効果の高い(実現性のある)事業を選択するため、事業選定の基準を策定した。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	今後、一層職員の能力や意欲の向上が求められると考えられるため、事業の効率化を図りながら進めていく。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> その他		目標達成に必要な項目を見定め、効果的な予算配分を行っていく。		
評価	評価	次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	目標達成に必要な項目を見定め、効果的な予算配分を行っていく。		
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性		
評価	評価	毎年過去に実施した事業の効果測定を行っていることにより、実現性の高い事業となるように努めている。また、政策課題として懸案となっているものについては、事業の活用を事務局から働きかけることにより、政策形成に結び付ける取組を行っている。			当事業も開始から4年を経て、応募数も増加してきており、制度として浸透してきた。今後は、事業の選定や効果測定などをより厳密に行い、より効果的な事業展開を図る。			
		評価日	H28.8.10	評価者職氏名	主幹 平栗 正之			
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動			規制を受ける環境法令等	無
							緊急事態	無